



# 週間情報



No.0641

発行日 令和6年10月15日

発行所 全国消防長会  
一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

## 両会の動き

### ◆ 消防実務講習会（予防）を開催

#### 一般財団法人全国消防協会九州地区支部

一般財団法人全国消防協会九州地区支部では、令和6年10月4日（金）、沖縄県那覇市において、消防実務講習会（予防）を開催しました。

講習会では、総務省消防庁予防課の辻企画調整・制度・防災管理係長から、「予防行政の動向」についてご講演いただきました。

当日は、聴講者から多数の質問があり、大変有意義な講習会となりました。

今後も、予防業務の円滑化を図るため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【あいさつの様子】



【講習会の様子】

## 消防本部の動き

### 訓練

#### ◆ 解体予定の建物を活用した倒壊・座屈建物救出訓練を実施

##### 駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和6年9月22日（日）から24日（火）までの3日間、解体予定の小学校校舎を活用した倒壊・座屈建物救出訓練を実施しました。

この訓練は、大規模地震により倒壊・座屈した建物に閉じ込められた要救助者を救出するため、進入口の設定方法と救出方法を習得することを目的として実施したものです。

当日は、同校舎を利用していた児童と先生たちが訓練を見学するとともに、見学した児童から、「将来、消防士になる。」、「もっと訓練を見たい。」との声を聞くことができ、消防業務に対する理解と興味を持っていただきました。

今後も、救助技術の向上を図るとともに、消防の業務・魅力を併せて発信してまいります。



【訓練の様子】

#### ◆ 防災航空隊と合同訓練を実施

##### 根室北部消防事務組合消防本部（北海道）

根室北部消防事務組合消防本部では、令和6年9月25日（水）、北海道防災航空隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、自然災害など複雑多様化する近年の災害に備えるため、同航空隊との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、孤立した災害現場における救助事案を想定し、同航空隊と連携してホイスト救出による救助訓練を行ったほか、駐機訓練、隊員投入訓練を実施しました。

また、同航空隊長から防災への要請手順について説明していただいたほか、活動事例を共有し、同航空隊との連携活動について認識を高めることができました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 消防長効果確認訓練を実施

### 川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和6年9月25日（水）、令和6年度新規採用職員に対して、消防長効果確認訓練を実施しました。

この訓練は、「新規採用職員育成訓練計画」に基づき、採用1年目の職員を対象に毎年実施しているものです。

当日は、令和6年度新規採用職員18人が、防火衣装着訓練と火災総合訓練を行い、安全・確実・迅速に実施できているかを確認しました。

今後も、人材育成に係るさまざまな教育訓練を継続し、市民の信頼と期待に応えられる消防組織を目指してまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 警察機関と合同でロープレスキュー訓練を実施

### うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和6年9月27日（金）、沖縄県警察警備部機動隊と合同で、ロープレスキュー訓練を実施しました。

この訓練は、同機動隊と救助技術を共有し、連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、お互いが2想定ずつ訓練を展示した後に意見交換を行い、救助活動に必要な知識や技術を共有し、救助活動能力の向上を図ることができました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、各種災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

## ◆ 医療機関と合同で多数傷病者対応訓練を実施

### 岳南広域消防本部（長野）

岳南広域消防本部では、令和6年9月28日（土）、北信砕石工業有限会社にご協力いただき、J A長野厚生連北信総合病院とJ A長野厚生連篠ノ井総合病院のDMATチームと合同で多数傷病者対応訓練を実施しました。

この訓練は、秋冬の行楽とスキーシーズンを迎えるに当たり、関係機関相互の災害対処能力の向上と連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、バス転落事故を想定して、両DMATチームと連携した訓練を実施し、大変有意義な訓練となりました。

なお、傷病者役として長野県須坂看護専門学校の学生39人にご協力いただきました。

今後も、関係機関との連携強化を図るとともに、災害対処能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 各機関と合同で西丘神社模擬火災訓練を実施

### 館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和6年9月29日（日）、板倉町役場、板倉町教育委員会、板倉消防団と合同で西丘神社模擬火災訓練を実施しました。

当日は、「西丘神社から出火した。」との想定で、セミブラインド型の訓練を行い、火災発生時における相互の連携活動を確認しました。

今後も、重要文化財愛護思想の高揚促進につながる活動を継続し、地域住民の火災予防意識の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練講評の様子】

## ◆ 消防団と合同でゴムボート取り扱い訓練を実施

### 蓮田市消防本部（埼玉）

蓮田市消防本部では、令和6年9月29日（日）、元荒川河川敷公園において、蓮田市消防団と合同でゴムボート取り扱い訓練を実施しました。

当市は、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けて、チェーンソー、エンジンカッターなどの資機材を消防団に配備したほか、今年度は、市内の冠水地域を管轄する消防分団にゴムボートを配備し、水害対策に努めています。

当日は、救助隊、消防隊が同消防団にゴムボートの操船要領や各種資機材の取り扱い要領・注意点などを指導しました。

今後も合同訓練を継続し、消防団と顔の見える関係を構築して連携強化を図るとともに、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

## ◆ 警察機関・航空隊と山岳救助合同訓練を実施

### 渋川広域消防本部（群馬）

渋川広域消防本部では、令和6年10月1日（火）、群馬県警察渋川警察署、群馬県警察航空隊、群馬県防災航空隊と山岳救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、山岳救助をはじめとする各種災害に備えるため、各機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、同警察航空隊の「あかぎ」と同防災航空隊の「はるな」の機体性能や装備品について情報共有を行いました。

また、両機に警察官、消防隊員が搭乗して、隊員投入訓練とホイスト救助訓練を実施し、地上からの進出が困難な場所における活動時の認識を共有することができ、効果の高い訓練となりました。

災害発生時には関係機関とのつながりが重要になることを念頭に、今後も訓練を継続し、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【駐機訓練の様子】



【ホイスト救助訓練の様子】

## 研 修

### ◆ 職員特別教養を実施

#### 上川北部消防事務組合消防本部（北海道）

上川北部消防事務組合消防本部では、令和6年9月18日（水）、19日（木）の2日間、職員特別教養を実施しました。

当消防本部は、日本海溝や千島海溝沿いで巨大地震が発生した場合は「北海道広域消防相互応援協定」に基づき、北海道道東地区へ応援出動します。

当日は、釧路市消防本部の職員を講師としてお招きし、1日目は地震対応についての教養と都市型捜索救助（ブリーチング）要領についてご講義いただき、2日目は実際に建物を活用した壁面ブリーチングの実技訓練を行いました。

参加した職員から、「非常に有意義な訓練となった。」、「隊としてのレベルが上がった。」などの感想を聞くことができました。

今後も訓練を継続し、管内での災害対応のみならず緊急消防援助隊などの派遣に備えるとともに、災害対応力の向上に努めてまいります。



【講義の様子】



【訓練の様子】

### ◆ 救急研修会を開催

#### 橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和6年9月19日（木）、救急研修会を開催しました。

当日は、和歌山県立医科大学医学部救急集中治療医学講座の教授である井上茂亮氏を講師としてお招きし、「和歌山県の救急医療の現状と今後の展望」と題して、ドクターヘリと救急隊との連携強化についてご講義いただきました。

また、同教授は、大学と高度救命救急センターの広報活動に尽力されており、YouTubeやInstagramなどを通じてさまざまな情報発信を行っていることから、救急の知識だけでなく、広報活動などについてもご講義いただき、大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

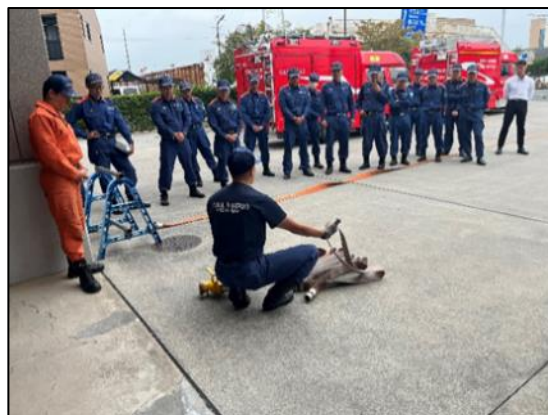
## ◆ 消防活動研修会を実施

### 草加八潮消防局（埼玉）

草加八潮消防局では、令和6年9月18日（水）、19日（木）、25日（水）、26日（木）の4日間、消防活動研修会を実施しました。

この研修会は、埼玉県消防学校独自の特別教育である「警防活動教育」に技術支援教官として派遣された職員が、当消防局の職員に対して指導し、消防活動に必要な知識・技術の向上を図ることを目的として、令和4年度から継続的に実施しているものです。

今後も研修会を継続し、災害対応能力の強化に努めてまいります。



【研修会の様子】

## その他

### ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

### 柳川市消防本部（福岡）

柳川市消防本部では、令和6年9月25日（水）、消防協力者に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年5月2日（木）、当市で発生した車両火災において、炎上するバイクとガレージテントを消防協力者が発見し、消火器を使用して初期消火を行ったものです。

消防協力者の的確な行動により、隣接建物への延焼拡大防止に大いに貢献いただきました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 消防協力者と消防協力企業に感謝状を贈呈

### 衣浦東部広域連合消防局（愛知）

衣浦東部広域連合消防局では、令和6年9月27日（金）、2事案の消防協力者の2人と消防協力企業の2社に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

1事案目は、同年6月10日（月）、市内のガソリンスタンドにおいて、心肺停止となった男性に対して、付近にいた消防協力者の2人が協力し、迅速な119番通報と胸骨圧迫を行い、適切に救急隊へ引き継いだものです。

男性は、途切れることのない救命のリレーにより、社会復帰しました。

2事案目は、同年8月12日（月）、市内で発生した火災事案において、大量の堆積物などに対する消火活動が困難を極めるなか、消防協力企業2社が連携し、重機などを活用して堆積物を崩し、消火活動を支援していただいたものです。

消防協力企業2社の迅速かつ適切な消火協力により、火災の早期鎮火に大いに貢献いただきました。



【1事案目の感謝状贈呈後の記念撮影】



【2事案目の感謝状贈呈後の記念撮影】

## ◆ 2分署の竣工式を実施

### 峡北広域行政事務組合消防本部（山梨）

峡北広域行政事務組合消防本部では、令和6年9月24日（火）、2分署（韮崎消防署須玉分署、北杜消防署白州分署）の竣工式を実施しました。

この新庁舎は、同年8月26日（月）に2分署同時に運用を開始し、消防活動拠点としての機能性と安全性を高めるために耐震構造にしたほか、施設機能の向上を図るために効率的な動線に配慮した構造とし、職場環境を改善した施設としました。

また、韮崎消防署須玉分署においては、女性職員専用エリアを設置しました。

当消防本部は、新庁舎の移転に伴い部隊の所属変更や、管内の出動区分の変更を行い、より地域住民の安全・安心に応えられる配置としたほか、地域住民へ分署見学の機会を設けて広く周知を行いました。



【須玉分署の様子】



【白州分署の様子】



## ◆ 「幼年消防の集い」を開催

### 久慈広域連合消防本部（岩手）

久慈広域連合消防本部では、令和6年9月26日（木）、久慈市防災センター・久慈消防署において「幼年消防の集い」を開催しました。

このイベントは、管内の幼年消防クラブ員と指導者が一堂に会し、相互に交流を深めることにより、幼年消防クラブの健全なる活動を促進し、火災予防思想の普及、高揚を図ることを目的として開催したものです。

当日は、200人以上が参加し、消防車両見学、はしご車搭乗体験、地震体験、煙体験、大声選手権、防災〇×クイズを行い、子どもたちが元気に学ぶ姿を見ることができました。

参加者がイベントを通じて、「未来を守る」消防職員を目指していただくことを期待しています。



【はしご車搭乗体験の様子】



【イベント後の記念撮影】

## ◆ 大規模工場施設の自衛消防隊と消防訓練を実施

### 多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、9月6日（金）、19日（木）、27日（金）の3日間、管内の大規模工場施設の自衛消防隊と消防訓練を実施しました。

近年、日本国内における防火対象物の火災件数は減少傾向にあるものの、工場火災件数の減少傾向は緩やかであるなか、当消防本部の管内では陶磁器が地場産業として栄え、炉や窯を保有する工場が多く、工場火災が発生する可能性が高い地域となっています。

期間中は、3施設の自衛消防隊と実際の消防用設備を活用しながら消防訓練を行い、消防力と連携の強化を図り、臨場感のある訓練となりました。



【訓練の様子】

## ◆ 「盛岡消防フェスティバル」を開催

### 盛岡地区広域消防組合消防本部（岩手）

盛岡地区広域消防組合消防本部では、令和6年9月28日（土）、盛岡中央消防署において、「盛岡消防フェスティバル」を開催しました。

このイベントは、地域住民の防火・防災思想の普及啓発を図ることを目的として開催したものです。

当日は、約1,500人が来場し、消防車両や高度救助隊による救助訓練の展示を行ったほか、化学車からの放水体験、防火衣装着体験、ロープ渡過体験、応急手当講習、岩手県防災指導車「防災そばっちゃん」による地震体験、煙体験、はしご車搭乗体験、119番通報体験など、さまざまな体験イベントを実施しました。

また、盛岡市消防団と盛岡市婦人防火クラブ連合会によるじゃんけん大会、子どもを対象とした防火紙芝居、水ヨーヨー射的などを行い、笑顔のあふれる大盛況なイベントとなりました。

今後も、地域と密着した広報活動を行ってまいります。



【救助訓練の展示の様子】



【防火紙芝居の様子】

## ◆ 「しこちゅー消防・防災フェスティバル」を開催

### 四国中央市消防本部（愛媛）

四国中央市消防本部では、令和6年9月29日（日）、市発足20周年記念事業の一環として、本市防災部局と公益社団法人法皇青年会議所にご協力いただき、市民を対象に「しこちゅー消防・防災フェスティバル」を開催しました。

このイベントは、市民の皆さまに楽しみながら防災への意識を高めていただくとともに、消防行政への理解を深めていただくことを目的として開催したものです。

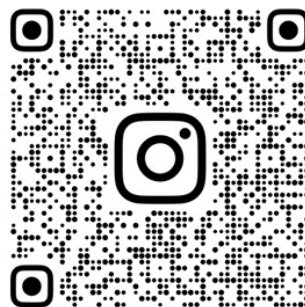
当日は、多くの子供と家族が来場し、車両・資機材展示、はしご車・ポンプ車の搭乗体験、放水体験などを実施したほか、防災ヒーロー入団試験や防災チャレンジを行い、さまざまなイベントを通じて防災について学んでいただきました。

また、消防団PRコーナーを設け、総務省消防庁消防団PR地域派遣事業で派遣された、吉本興業の住みます芸人によるトークライブが行われ、イベントを盛り上げていただきました。

今後も広報活動を継続し、市民との触れ合いを大切にして、各種普及啓発活動に努めてまいります。



【イベントの様子】



@119.SHIKOKUCHUO.FD

【Instagramの二次元コード】

## ◆ コラボレーションした商品を製作

### 須賀川地方広域消防本部（福島）

須賀川地方広域消防本部では、令和6年9月30日（月）、防火思想普及啓発の一環として、石川町に本社がある株式会社お菓子のさかいとコラボレーションした「マモタン」のブッセを製作しました。

これは、同社で30年以上愛されている人気商品の「幸福の黄色いブッセ」に、当消防本部の公式イメージキャラクターである「マモタン」が消防車に乗った焼印を付し、火災予防や防災思想の普及につなげることを目的として製作したものです。

コラボレーションしたブッセは、全国秋季・春季火災予防運動期間中に3店舗（石川長久保店、石川本店、須賀川西川店）で販売される予定です。

また、火災予防運動の期間外であっても、事前予約により購入することができ、住民に少しでも火災予防について考えていただくきっかけになることを期待しています。



【コラボレーションしたブッセ】

## 国等の動き

### 報道発表

#### ◆ 消防防災科学技術研究推進制度の令和7年度研究開発課題の募集

（令和6年10月7日、消防庁）

消防庁では、消防防災分野における課題解決や重要施策推進に資するため、消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究費）により研究開発を推進しています。

この度、令和7年度の研究開発課題を募集しますので、公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/241007\\_yobou\\_458.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/241007_yobou_458.pdf)) に掲載されています。

< 担当 >

消防庁予防課（消防技術政策担当）

中嶋・秋山・岩井

Tel : 03-5253-7541

Mail : [gisei2\\_atmark\\_ml.soumu.go.jp](mailto:gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp)

※スパムメール対策のため、「@」を

「\_atmark\_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0617）1ページ、機関誌「ほのお」2024年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 児嶋

原稿データは、[kikakeikaku@fcj.gr.jp](mailto:kikakeikaku@fcj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 岡崎

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

#### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

#### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 須藤

原稿データは、[weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)に送信願います。